

静岡県鉱工業指数 (平成24年10月分速報)

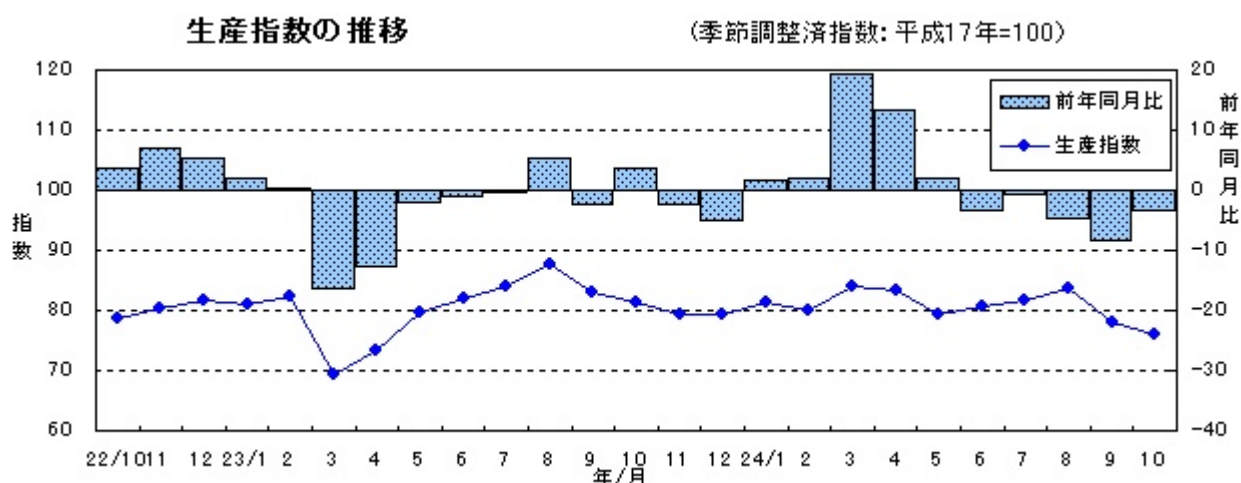
1. 生産の動き

前月比2.8%減(2か月連続して低下)、前年同月比3.4%減(5か月連続して低下)

10月の鉱工業生産指数(季節調整済:平成17年=100)は75.9であった。

前月比(季節調整済指数)は2.8%減と2か月連続して低下した。また、前年同月比(原指数)は3.4%減と5か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、食料品・たばこ、精密機械、金属製品等が上昇する一方、電気機械、化学、輸送機械等が低下した。



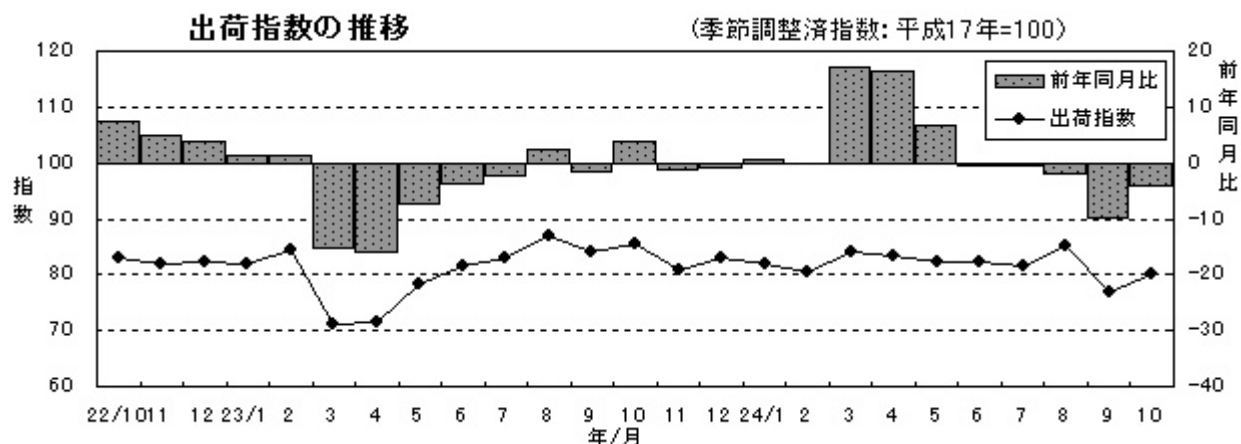
2. 出荷の動き

前月比4.2%増(2か月ぶりに上昇)、前年同月比3.9%減(5か月連続して低下)

10月の鉱工業出荷指数(季節調整済:平成17年=100)は80.2であった。

前月比(季節調整済指数)は4.2%増と2か月ぶりに上昇した。また、前年同月比(原指数)は3.9%減と5か月連続して前年を下回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、食料品・たばこ、精密機械、輸送機械等が上昇する一方、電気機械、化学、一般機械等が低下した。



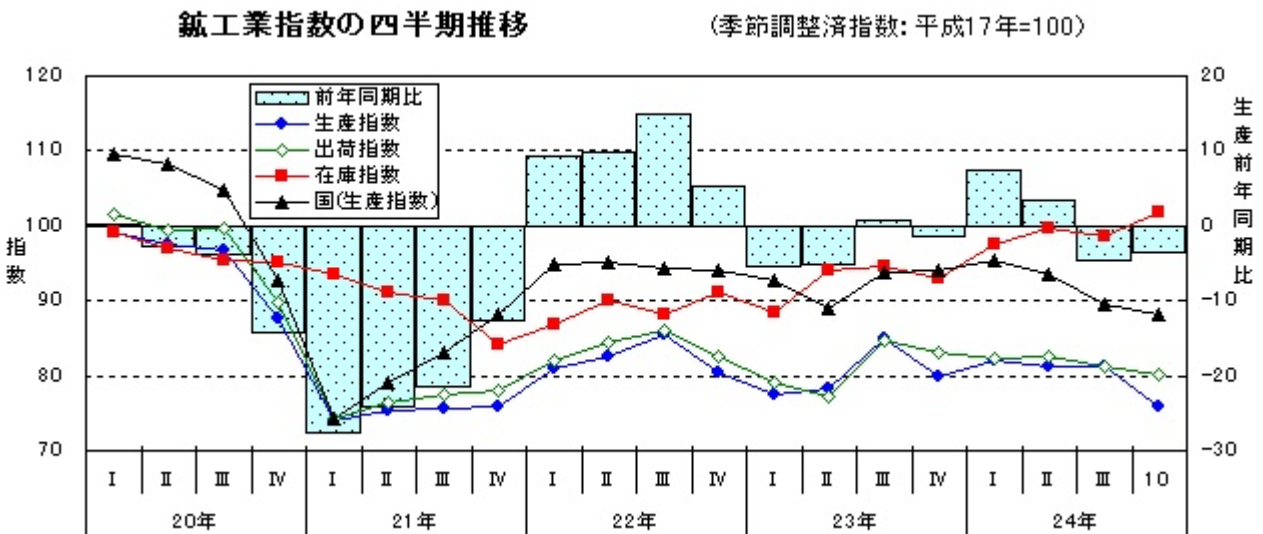
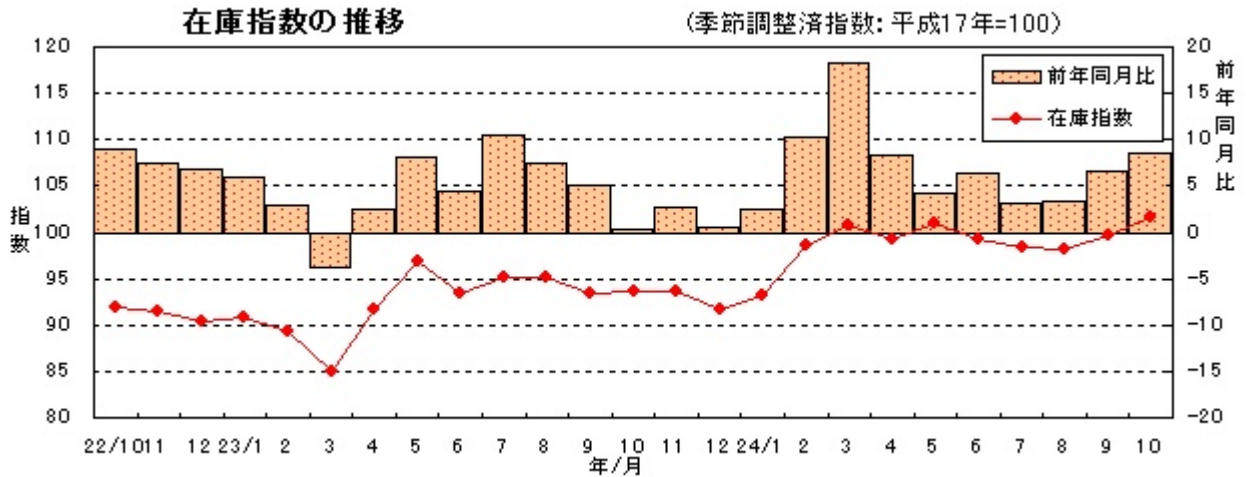
3. 在庫の動き

前月比2.0%増(2か月連続して上昇)、前年同月比8.6%増(19か月連続して上昇)

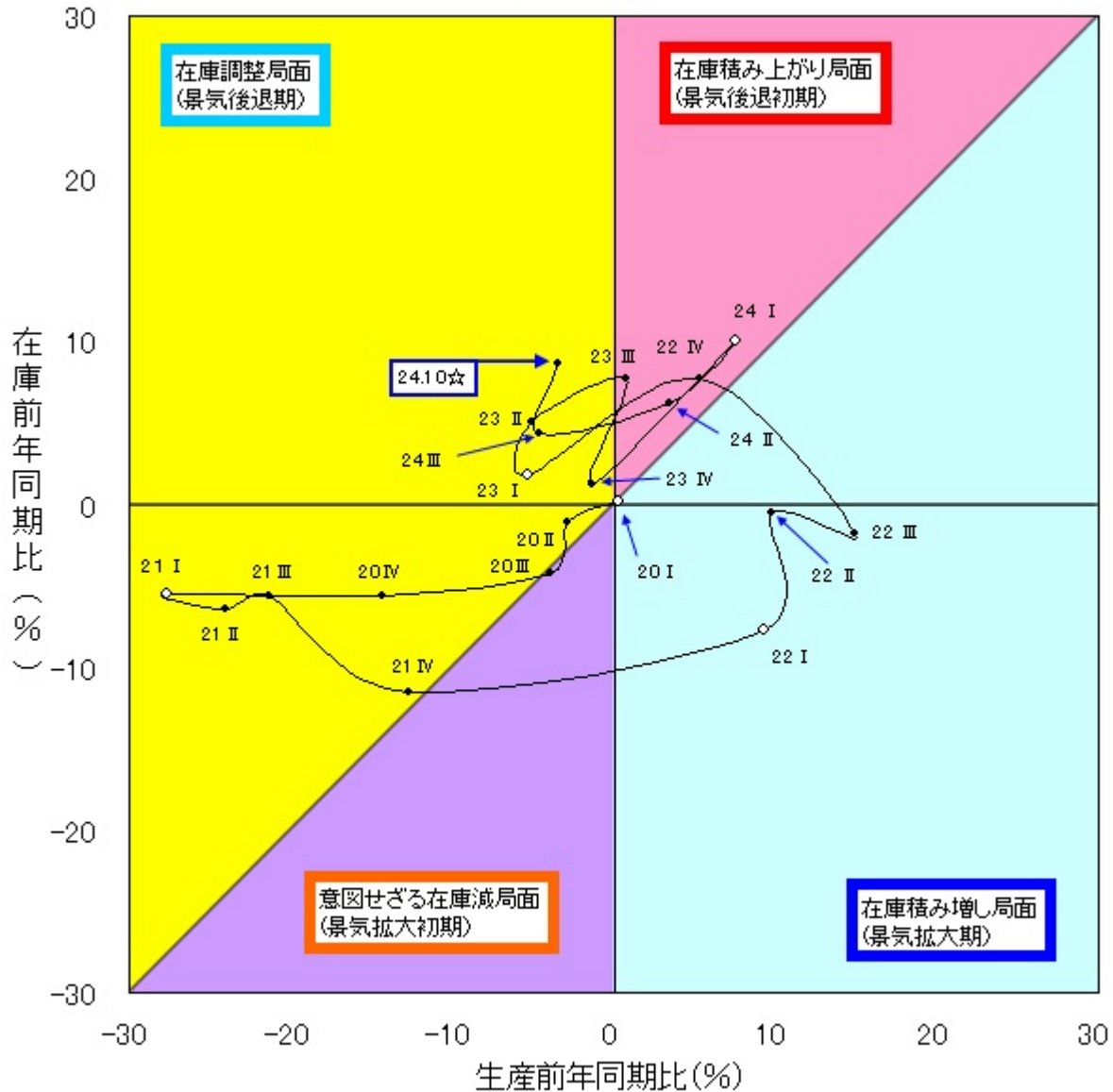
10月の鉱工業在庫指数(季節調整済:平成17年=100)は101.7であった。

前月比(季節調整済指数)は2.0%増と2か月連続して上昇した。また、前年同月比(原指数)は8.6%増と19か月連続して前年を上回った。

業種別の前月比(季節調整済指数)では、化学、プラスチック製品、その他製品等が上昇する一方、パルプ・紙・紙加工品、輸送機械、食料品・たばこ等が低下した。



在庫循環図



- ・ **在庫積み増し局面 (景気拡大期)**
需要が供給より多くなると、生産を拡大し、在庫を積み増して需要に対処する。
- ・ **在庫積み上がり局面 (景気後退初期)**
供給が需要より多くなってくると、生産の伸びが鈍化し、在庫が適正水準を超え、在庫の積み上がりが起こる。
- ☆ **在庫調整局面 (景気後退期) ← 今月はここに該当**
適正水準を超えた在庫を減らすため、生産を抑え、在庫調整を図る。
- ・ **意図せざる在庫減局面 (景気拡大初期)**
需要の増加に生産が追いつかず、在庫が減少する。